

児童・生徒の現状・課題

学習への意欲は高く、課題に取り組むが、自ら進んで計画を立て、学習することが苦手なものが多く、学び方を自分で選び、学習を進める機会が少ない。学習した内容・方法や自分の成長を十分振り返ることができていない。



学び続ける力を育むための重点目標

○子どもたち自身が、自らの学びを自ら進めるという意識を高め、理解度や進捗を振り返りながら学習できるようにする。



具体的な手だて①

単元の目標と毎時間の授業の目標をあらかじめ生徒に提示し、ゴールを明確にする。生徒が計画的に見通しをもって学習ができる環境を整える。

具体的な手だて②

教科ごとに学習計画表を配付し、単元の最初の授業時に、単元の課題や生徒の目標、本時の課題や1時間の学習計画を記述し、単元の流れを明確にし、毎時間の授業の中で、その時間の目標、振り返りを記入し、自己調整学習のプロセスに慣れる機会をつくる。

具体的な手だて③

共に学習する仲間、学習する場所、ツールなど、目的に沿って、自ら選択できる場面を、単元を指定するなどして、教科ごとに設定する。



校内で共有し、授業改革を日常化するための工夫

- ・9～10月に授業観察週間を設け、教員がお互いの授業を見合う機会をつくる。
- ・校内研修を計画的に行い、課題や成果の共有をはかる。
- ・研修資料をクラウド上にのせ、全職員が資料の閲覧ができるようにする。

児童生徒調査

※肯定的回答の割合(%)

肯定的回答の割合(%)	昨年度	目標(5月)	結果(1月)
①自分から進んで計画を立てて学習している。	68.3	75.0	
②取り組む課題や調べ方、話し合う相手や発表方法など、学び方を自分で選び、学習をすすめることができる。	76.5	80.0	

教員調査

※肯定的回答の割合(%)

肯定的回答の割合(%)	昨年度	目標(5月)	結果(1月)
①授業では、学習課題や学習過程等、児童が学び方を選択する場面を設定している。	100	90.0	教員入れ替わり
②個別最適な学びを実現するため、事前に個に応じた課題や支援方法を計画している。	85.0	90.0	

総括(5月)

計画を立て、学習を進めるのが苦手な生徒が多く、学び方を自分で選び、学習を進める機会が少ない。また、全国学力学習状況調査の結果から、生徒は、PCなどのICT機器が、学習に有用だと実感しているものが多いが、授業で使用するが週3回以上と回答したものの割合が、34.6%と少ない。本校では、自己調整学習への取り組みや、ICT機器の活用で課題があると考え、日常の授業において、ICT機器を活用する場面を増やし、生徒が自身の学びを計画的に行い、学び方を選択し、振り返ることができる場面を各教科取り組むことを目指す。

総括(1月)